

PI の取組を検討する上での論点（案）

1.（資料 4-1）「PIの取組」について

- ・これからどのように取り組んでいったらよいか。
- ・各テーマについて誰が方向づけるのか。
- ・「これからの取組(PI)」にどんな名称をつけたらよいか。

2.（資料 4-2）「検討テーマ」について

- ・これからの取組として何を検討していくべきか。
- ・広域レベル(テーマ①)と地区レベル(テーマ②)の議論は複雑に絡み合っているが、これらをどのように整理(組み合わせ、順序など)して検討するべきか。

3. PI 実施計画策定時における意見聴取について

- ・PI 実施計画策定段階から市民の意見を聴くべきと考えるが、どのような方法がよいか。

4. 検討を始めてからのコミュニケーションについて

- ・多様なステークホルダー(利害関係者)が想定されるが、どのような対話(PI)をすればよいのか。

5. 公正性について

- ・公正性を担保するためには、検討の進め方や市民との議論をどのように行ったらよいか。

6. PI 委員会のよる評価、助言について

- ・PI 委員会は、どのような観点からPIを評価、助言するのか。

7. 体制に係る論点

- ・市民との対話(PI)を実施しながら計画検討を進め、かつ透明性や客観性及び公正性を確保するためには、体制上どんな工夫が必要か。